

令和7年度 老人福祉センター福寿苑 指定管理者モニタリングレポート

施設名称		老人福祉センター 福寿苑
所在地		可児市大森347番地2
指定管理者	名称	社会福祉法人 可児市社会福祉協議会
	代表者	会長 奥村啓明
	住所	可児市今渡682番地1
モニタリングの実施方針・方法等		本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握した。
担当部課		福祉部高齢福祉課
(問合わせ先)	電話番号	0574-62-1111 内線3221
	E-mail	koreifukusi@city.kani.lg.jp

モニタリングの総合コメント	一年を通じて、閉館することなく予定通り開館することができた。教室等の中止は数回あったものの、それ以外は予定通り開催できた。スマホ教室やフレイル予防など、利用者にとって身近に感じられる内容の企画も実施され、館の賑わいにつながっている。 利用者数は大幅な回復とまでは言えないものの、コロナ禍の影響も和らぎ、確実に増加傾向にある。団体・個人ともにコロナ前の水準へ近づけられるよう、引き続き適切な管理・運営が求められる。 苦情・事件・事故の報告については、体調不良が1件あったのみで、それ以外は発生しなかった。アンケート結果においても職員の対応に関する評価は高く、満足度は93%と高水準を維持している。現状を維持しつつ、さらなる満足度向上に向けた取り組みを継続されたい。 施設の老朽化に伴い不具合が発生すること多いが、適切に対応・報告がなされており、問題の深刻化を未然に防げている点も評価できる。
---------------	--

今後の事業改善に向けた考え方	福寿苑は可児市における高齢者の健康増進や教養の向上、生きがい支援を担う重要な拠点である。 個人利用者数については、喫茶店の閉店等の影響もあり全体としては減少傾向が見られる。1日平均の利用状況はほぼ同水準を維持しているものの、日常的な憩いの場としての魅力を取り戻し、より多くの高齢者に気軽に足を運んでもらうための工夫が求められる。引き続き、利用者のニーズを丁寧に把握した上で、気軽に立ち寄れる居場所づくりを進めるとともに、利用者が快適かつ安全に過ごせるよう清掃や施設修繕等の適切な環境整備を的確に実施されたい。 また、社会情勢の変動や物価高騰等により施設運営を取り巻く環境が厳しさを増す中、安定した施設運営を持続するためには、魅力ある自主事業の展開が不可欠である。特に、介護予防やフレイル防止に資する魅力的な企画を充実させ、幅広い高齢者の興味・関心を引き出し、積極的な社会参加を促す機会の創出を期待する。
----------------	--